

第29回酸性雨東京講演会

「反応性窒素の大気沈着について考える」

主催：大気環境学会関東支部酸性雨部会

共催：大気環境学会酸性雨分科会、酸性雨研究会、大気沈着研究会

日時：平成29年2月23日（木）14：00～17：00

場所：東京農工大学府中キャンパス

<http://www.tuat.ac.jp/outline/overview/access/>

農学部第1講義棟16教室（1階）

http://www.tuat.ac.jp/outline/overview/access/fuchu/campus_map/

プログラム

1. 反応性窒素の大気沈着について考える（趣旨説明）
松田和秀（東京農工大学）
2. 反応性窒素の沈着量評価：数値モデルによるアプローチとその課題
板橋秀一（電力中央研究所）
3. 千葉県における大気中アンモニア濃度分布と経年変化
横山新紀（千葉県環境研究センター）
4. 亜硝酸(HONO)の発生源と大気動態に関する研究
中嶋吉弘（東京農工大学）

（演題は仮題を含みます）

参加費・資料代：無料

参加申込：2月16日（木）までに下記申込先へご連絡ください。

<問合せ・申込先>

松田和秀（東京農工大学）

E-mail: kmatsuda@cc.tuat.ac.jp